

やまと絵は平安時代以来制作されてきた絵画様式の一つです。細密な描写、濃密な彩色、吹き抜け屋台などの特徴をもち、風景画や物語絵などが描かれました。土佐派と住吉派はやまと絵の作品を制作した流派の名称で、特に土佐派は室町時代より代々やまと絵を描いてきた流派です。

本展覧会では室町時代から江戸時代初期のやまと絵を通覧するとともに、泉州地域に縁の深い桃山時代から江戸時代初期に活躍した土佐光則・光起父子、住吉如慶・具慶父子がもたらしたやまと絵の新たな展開をご覧ください。

室町時代には「土佐」を苗字とする一団が、天皇や貴族たちに絵を描くことで仕える宮廷絵師となり、絵所預として活躍しました。彼らは『源氏物語』などの雅やかな世界を濃密な彩色と細密な描写を用いて作品を遺しました。江戸時代になると土佐派で画技を磨いた絵師が分派して住吉派を興します。住吉如慶・具慶父子は徳川家の御用も務め、具慶は幕府の御用絵師にも任じられました。

やまと絵の荘重と軽妙

# 土佐派と住吉派

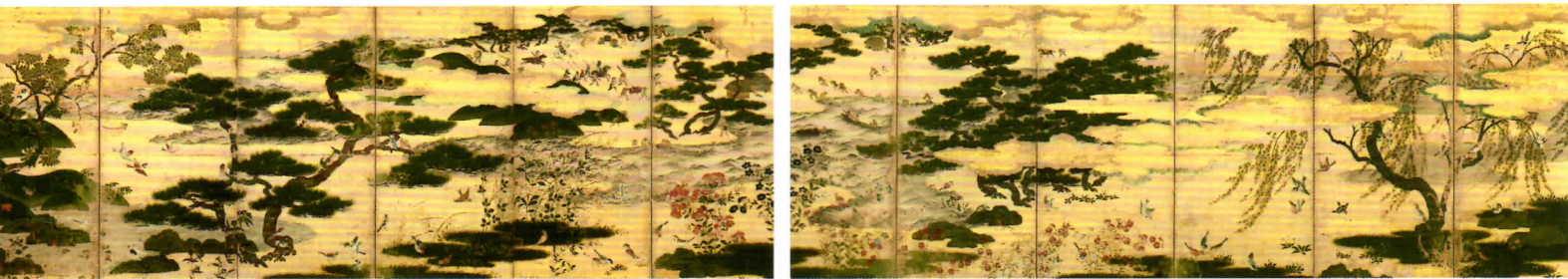
特別展

2018年10月13日(土)→12月2日(日)

語』などの雅やかな世界を濃密な彩色と細密な描写を用いて作品を遺しました。江戸時代になると土佐派で画技を磨いた絵師が分派して住吉派を興します。住吉如慶・具慶父子は徳川家の御用も務め、具慶は幕府の御用絵師にも任じられました。

伝統に則った作品作りを得意とした両派ですが、土佐派は土佐光起の代で中国絵画の学習もし、画題が広がります。住吉派も江戸での作画活動のために東照宮縁起や徒然草絵巻など土佐派が取り組んでいない画題に挑戦しています。

本展覧会は総点数約100点で構成します。両派に見られる細密描写と華麗な彩色による物語絵、花鳥画、肖像画などからやまと絵の魅力をご堪能ください。



2



3



4



5

## 主な展示品

- 重要文化財「浜松図屏風」東京国立博物館蔵(10/13~28)  
Image:TNMImageArchives Source:http://TnmArchives.jp/
- 「源氏物語朝顔図」土佐光起筆 根津美術館蔵(後期)
- 「源氏物語画帖」住吉如慶筆 サントリー美術館蔵(前期)
- 「徒然草絵巻」土佐光起筆 個人蔵(全期間)
- 「源氏物語扇面貼交屏風」伝土佐光則筆 和泉市久保惣記念美術館蔵(全期間)

## 展示解説

10月20日(土)・28日(日)、11月17日(土)・25日(日)

午後1時より学芸員による解説を展示室にて行います。聴講無料(ただし美術館入館料が必要です)

## ミュージアムコンサート

【開場】午後1時30分 【開演】午後2時(全日共通)

【開催日】10月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)、11月3日(土・祝)・17日(土)・18日(日)・23日(金・祝)・24日(土)・25日(日)、12月1日(土)・2日(日)

いずれのコンサートも、美術館に入館された方はご自由にお聴きいただけます。当日美術館入口で午後1時30分より配付する整理券が必要です。なお、先着120名様で入場制限を行います。内容については美術館までお問い合わせください。

## 関連イベント

篠笛コンサート「日本の音・篠笛〜ほのかに聞こゆるもいとをかし」

【開催日】11月10日(土) 【開演】①午前11時 ②午後1時30分 【出演】森田玲、森田香織  
各回開演30分前より美術館入口にて整理券を配付 先着120名 全席入れ替え

Ei 愛 チャリティーコンサート「生命を謳う Part IV ~ 思いをつなぐ」

【開催日】11月11日(日) 【開演】午後2時  
午後1時30分より美術館入口にて整理券を配付 先着120名 全席自由

\*11月10日(土)・11日(日)は関西文化の日のため入館無料。上記の関連イベントも無料で鑑賞いただけます。



## 交通案内

- 電車の場合
  - ・京北高速鉄道「和泉中央」駅下車、南海バス①③乗り場より①「春木川」「若穂」行、③「美術館前」「松尾寺」行)乗車(約10分)、バス停「美術館前」下車すぐ
  - ・JR 阪和線「和泉府中」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」「若穂」行)乗車(約30分)、バス停「美術館前」下車すぐ
  - ・南海本線「泉大津」駅下車、南海バス②乗り場より「春木川」「若穂」行)乗車(約40分)、バス停「美術館前」下車すぐ
- 車の場合
  - ・阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分(無料駐車場有)



和泉市久保惣記念美術館  
KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 <http://www.ikm-art.jp>

この印刷物は90,000部作成し、一枚あたりの単価は2.69円です。